

Schedule 12

患者の行動

1回以上投与の間があいてしまった場合[4.16, 4.17]、患者は以下のどの行動を実行しなければならないかを選択できること。

- ・医師または薬剤師の助言を求める
- ・直ちにその薬の1回分を服用または使用してから、以前と同じように薬の服用を続ける
- ・使用しなかった回数を補うためにその回数分を服用してから、以前と同じように薬の服用を続ける
- ・直ちに1回分を使用するが、薬の服用時間の変更（もしあったならば）を考慮して、次回の分を服用する時間を変える
- ・その投薬治療クールを最初から始める
- ・何もせず、投薬治療クールを変更せずに継続する

患者はこうした行動を正しく実行できること。

患者は、そうすべき時には投与治療を中止、変更することができ、それをいつするかについて理解していること[4.18]。また患者は、指示に従う理由について、また指示に正しく従わないとどうなるか（たとえば、有害作用、禁断症状など）について[4.18]も理解していること。患者は（適切な場合には）医師または薬剤師に相談することを理解していること。

テスト用の質問

- 4.16 1回分の薬の使用を忘れてしまった場合、どうすべきか？
- 4.17 朝食の時に[ここに薬品名を入れる]を服用することになっていたが、忘れてしまったと想定してみよう。今ここで服用すべきか？
- 4.18 先月はずっと気分がとてもよかったと想定する。その薬の服用を止められるか？

Schedule 12

5. 追加情報

たとえば、習慣性が確立される可能性、医師の処方箋が必要かどうか。

6. 有害影響

その医薬品の通常の使用により生じる可能性のある有害影響の説明、および必要であればそれが経験された場合に講じるべき対処。

有害影響が生じた場合、特に患者用説明資料中で言及されていない場合には、その患者担当の医師または薬剤師に相談するよう患者にははっきりと求めること。

患者の行動

患者は、たとえば下記のような、その薬を使用するのに必要なその他詳しい情報があれば見つけることができること。

- ・その薬、またはその薬の別のクール、あるいはその薬を別の強度で入手するには、医師の処方箋が必要かどうか[5.1]
- ・習慣性確立の可能性など、長期影響について[5.2]
- ・必要となるかもしれないライフスタイルの変更[5.3]
- ・定期検査や定期健診を受ける[5.4]
- ・食べ物[5.3]

また、適切な対処を講じられること（医師または薬剤師の助言を求めるなど）。

通常の使用中に起こるような有害影響が自分に起こった場合、その兆候や症状を見分けられること（めまい、吐き気、嘔吐、眠気など） [6.1]。

患者は以下のことを知っていること。

- ・有害影響が生じた場合、包装上に記載されているかどうかにかかわらず、担当の医師または薬剤師に報告する[6.2]、および
- ・副作用に対処する別の薬を使用する前に助言を求める[6.2]

テスト用の質問

- 5.1 その薬、またはその薬の別のクール、あるいはその薬を別の強度で入手するには、医師の処方箋は必要か?
- 5.2 この薬の服用による長期影響はあるか?
- 5.3 この薬の使用中は（ここにはライフスタイルまたは食べ物に関する具体的ななかかわりを入れる）をしなければならないか?
- 5.4 どのような検診を受けなければならないか?

- 6.1 この薬の副作用が出ているかどうかは、どのようにしたらわかるか?
- 6.2 [ここには副作用の種類を入れる]が出たらどうするか?

Schedule 12

7. 過剰投与の場合

過剰投与の場合に講じるべき対処法（たとえば、症状および応急処置法など）

患者の行動

患者は、副作用について担当の医師または薬剤師にいかに関急に伝えるか、および副作用についてどうすべきかを判断できること [6.2]

患者は、以下のような、副作用にどう対処するかについての方法から選択できること[6.2]。

- ・ 医師または薬剤師からの助言を求める
- ・ 別の薬物治療を受ける
- ・ 別の薬物治療を受けない（禁忌である場合）
- ・ その薬の使用を止める

そして、これらの行動を正しく実行できること。

患者は過剰投与による症状を見分けられること[7.1]。

過剰投与の場合には、患者はたとえば以下のような行動順序を選択できること[7.2]

- ・ 緊急に応急措置を実行する（たとえば、影響の出た部分を洗浄する、吐く、牛乳を飲む、包帯を巻く）
- ・ さらに詳しい情報を求める（たとえば、担当または誰でもよいから医師または薬剤師に電話する、毒物情報センター、または一番近い病院の救急部門に連絡する）
- ・ 自分で入院する

そして、これらの行動を正しく実行できること。

患者は、特定物に関して、過剰投与による緊急事態を理解する必要がある[7.3]。

テスト用の質問

7.1 あなた（または他の誰かが）この薬を使用しすぎたか、または過剰投与された場合にどのような症状が認められるか？

7.2 この薬を過剰投与された場合にどうせよ、と添付文書には書いてあるか？

7.3 どのくらい緊急に何かをする必要があるか？

Schedule 12

8. 保存条件

適切な保存条件の説明。ラベルに表示してある有効期限に言及し、有効期限後にはその医薬品を使用しないよう警告を伴うこと。該当する場合には劣化の兆候が目視により認められた場合の警告。

患者の行動

患者はその薬の有効期限を見つけられること[8.1]。その有効期限が切れたならば、患者はたとえば以下のような、その医薬品を取り扱うための行動順序を選択できること[8.2]。

- ・残りを薬剤師に返却する
- ・残りを廃棄する
- ・残りを流しに捨てる

そして、これらの行動を正しく実行できること。

患者は薬を適切に保存できること[8.3]。これには以下の内容が含まれる。

- ・子供が誤って手にするようなことのないよう、戸棚に鍵をかけて保管する
- ・冷所に保存する（30℃より低いところ）
- ・暗所に、または直射日光のあたらないところに保管する
- ・家庭用の洗剤や毒物から離して保管する
- ・製品によっては暑い場所（車内など）に一定時間以上放置しない
- ・湿気のないところに保管する
- ・最初に入っていた容器内に保管する
- ・冷蔵庫または冷凍庫内に保管する
- ・冷蔵庫または冷凍庫内には保管しない▶

テスト用の質問

- 8.1 この薬の有効期限（いつまでに使用するか）はいつか？
- 8.2 有効期限が切れたならば、この薬をどうすべきか？
- 8.3 この薬はどのように保管すべきか？▶

Schedule 12

患者の行動

患者は薬をこのような方法で保管する理由 [8.4] (たとえば、この薬の効き目が失われる、毒である、など)、およびその保存方法を実行しない場合のリスクについて理解していること。

患者は、以下のことに注意して、劣化してしまった薬を見分けられること[8.5]。

- ・その薬のいつもの色に変化した
- ・においが悪い、またはいつもと違う
- ・味が悪い、またはいつもと違う

および、そうなった場合に使用すべきでないことを理解すること[8.6]。

患者は薬の劣化を導くような条件も見分けられること[8.5] (たとえば、傷やいたみのあるホイルの包み、ビンの密閉状態が損なわれているなど)。患者は劣化した薬を安全に廃棄する方法を知っていること。

さらに患者は、1 回分の用量の一部として残った半分に割った錠剤 (これは用量が錠剤半分に決められていたことによる) などの少量単位を保存できること。これには以下の内容が含まれる。

- ・残りをビンに戻す
- ・残りを包装する
- ・残りを捨てる

患者はまた、未使用の薬をどうすべきかについても知っていること[8.7]。たとえば以下のことがある。

- ・薬剤師または病院に返却する
- ・廃棄する
- ・保管する

そして正しく行動すること。

テスト用の質問

- 8.4 薬をなぜそのように保存する必要があるのか?
- 8.5 もしこの薬が劣化していた (悪くなっていた) ならば、どのようにわかるのか?
- 8.6 薬が悪くなってしまったと考えた場合、どうすべきか?
- 8.7 投薬治療が終了した後で薬が残っていたらどうすべきか?

Schedule 12

9. さらに詳しい情報を得るにはどこへ聞いたらよいか

患者が何らかの局面について医師または薬剤師と話し合うための、また該当する場合には更なる情報を入手できる方法の説明。

患者の行動

患者は以下のようなこと。

- ・ さらに詳しい情報が必要な場合にどこで入手できるか知っている[9.1]
- ・ 最も適切な情報源を選べる[9.1]
- ・ どのようにして情報を入手するかを知っている[9.2]

患者は、少なくとも下記のいくつかから多分情報を入手できることを理解していること[9.1]

- ・ 担当（またはその他の）医師
- ・ 担当（またはその他の）薬剤師
- ・ 病院
- ・ 毒物情報センター
- ・ 薬物情報センター
- ・ 保健所
- ・ 保健省
- ・ 本、パンフレットおよびその他の文献
- ・ メーカー（または該当する場合はスポンサー）

患者は以下のことによって情報を要求する適切な方法を選べること[9.2]

- ・ 担当の医師または薬剤師から直接面会して助言を求める
- ・ 上記情報源のいずれかに手紙を書く
- ・ 上記情報源のいずれかに電話するかファクスを送る

患者は担当の医師または薬剤師とその薬について、および投薬治療プログラムのいかなる局面についても話し合えることを知っている[9.3]

テスト用の質問

- 9.1 この薬についての情報をもっと欲しかったとした場合、誰から入手するか、またはどこから入手したらよいか?
- 9.2 どうやって手に入れるか?
- 9.3 自分の治療と使用している薬についてもっと情報が欲しかった場合には、誰に聞いたらよいか?

Schedule 12**10. スポンサー**

その医薬品のオーストラリアのスポンサーの名称および住所

11. 情報の期日

その患者用情報が最後に更新された日付

患者の行動

患者は、その製品のオーストラリアのスポンサー[10.1]、製造者または輸入業者の名称と住所、およびその団体に詳細情報を入手する際に連絡すべき担当者をみつけられること。

患者はその情報が最後に作成された日付を見つげられること[11.1]

テスト用の質問

10.1 製造者の名称と住所は何か?

11.1 この情報はいつ作成されたか、または最後に更新されたのはいつか?

資料 1 - 2

患者向け説明文書 様式等素案 (Web 版)

説明文書の作成日 (更新日) : 2004. 3. 31

パナルジン錠 Panaldine tablet

1 錠中 100mg

塩酸チクロピジン ticlopidine hydrochloride

この説明文書を参考にする場合は、以下のことにご注意ください。

この説明文書は、この薬に関する全ての情報を記載しているものではありません。

この薬を使用する人に、知っていて欲しいことを簡潔に記載しています。

この説明文書より更に詳しい情報を欲しい方は、医師または薬剤師に聞いてください。

全ての薬は、良い面 (病気を治癒する) と悪い面 (副作用) を持っています。指示通り使用している間に不安になったり、疑問が出てきた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

この薬の効果は？

☆この薬は、血小板凝集抑制薬と呼ばれるグループに属する薬です。

☆この薬は、血管内で血小板がくっつきやすくなっている状態を改善し、血液をさらさらにして血液が固まるのを予防します。

次のような病気と診断された人に処方されます。

・血管の手術を受けた人や血液透析を受けている人 ・慢性動脈閉塞症 ・脳梗塞 など

☆この薬は、自分の判断で勝手に飲むことを止めると、病気が悪化したり、再発することがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。

この薬を使う前に、貴方が確認すべきことは？

この薬を飲む前に、重要なことがあります。

☆ 次のような人は、この薬を飲み始める前にそのことを医師または薬剤師に告げて下さい。

・現在出血しているまたは出血しやすい体質の人 ・現在肝臓に障害がある、または過去にその治療を受けたことがある人 ・現在血液中の白血球が少なくなっている、または過去にその治療を受けたことがある人 ・過去に塩酸チクロピジンで白血球が少なくなったことがある人 ・過去に塩酸チクロピジンで過敏な反応を経験したことがある人 ・月経期間中の人 ・妊娠中またはその可能性がある人 ・現在授乳している人 ・歯科など出血を伴う治療を受けているまたはその予定の人

☆ 次の薬を含む医薬品とこの薬を同時に飲んだ場合、この薬の作用を強めたり弱めたりします。飲まなければならない場合は、医師や薬剤師に相談して下さい。

・バルビツール酸誘導体 ・テオフィリン ・フェニトイン ・アスピリン ・イコサペント酸エチル ・イブプロフェン ・ジクロフェナク ・インドメタシン

この他にも注意を要する医薬品があります。他の薬を飲まなければならない場合も必ず医師または薬剤師に相談して下さい。

☆ 車の運転及び高所作業や高度機械操作への影響

・この薬は、車の運転及び高所作業や高度機械操作への影響を与えません。

この薬の使い方は？

☆ 飲む錠数

この薬は、1回1錠～2錠（1日2錠～6錠）を飲むように医師が決めます。

病気や症状によって飲む錠数が異なります。決められた錠数を飲むことが重要です。

☆ 1日に飲む回数

この薬は、通常1日2回～3回、朝・夕や朝・昼・夕の食後30分以内に飲むように指示されます。

☆ 何で飲むか

コップ一杯の水または白湯で飲みます。他に飲んでいる薬がある場合は、まとめて一緒にコップ一杯の水または白湯で飲みます。

☆この薬は長く口の中に含んでいると、苦みが残ることがあります。

☆この薬は、原則として小児には使用しません。

☆忘れた場合の対応

気が付いたらすぐにのんでください。飲み忘れに気づいた時間が、次の飲む時間に近い場合は、1回分を抜いて、次から規則的にのんでください。2回分を一度にのまないでください。

1～2回飲み忘れても、病状に大きく影響することはありません。

☆過量使用時の対応

・2～3回分を飲んだ場合

特別変わったことが感じられないなら、心配ありません。しかし、不安ならば医師に相談してください。

・それ以上を飲んでしまった場合

なるべく早く医師に相談してください。

この薬を使用中に気をつけなければならないことは？

☆この薬を飲み始めてから2ヶ月以内に、ごくまれですが重い副作用が起こることが知られています。最初の2ヶ月間は、2週間毎に血液検査を行いながら観察しますので、医師が指示した受診日を守って下さい。

☆出血した場合、止まりにくくなっています。怪我をしないように注意してください。

万一出血が長引く場合や怪我の範囲が大きい場合は、直ちに近くの病院を受診してください。

☆歯の治療など、他の医師を受診する場合、必ずこの薬を飲んでいることを医師に伝えてください。

☆風邪などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを薬局の薬剤師に伝えてください。

☆この薬を飲んでいる間に不安に感じるがあったら、医師または薬剤師に相談してください。

この薬を使用中に、以下のような自覚症状に気がいたら副作用の可能性が
あります。それぞれの指示に従ってください。

★ 次のような症状を自覚したら直ちに受診して下さい。

副作用毎に自覚症状を記載しました。

| 副作用 | 自覚症状 |
|--------------|---|
| 血栓性血小板減少性紫斑病 | 青あざ、歯ぐきの出血、鼻血、皮下出血、発熱 |
| 無顆粒球症 | のどの痛み、発熱 |
| 重篤な肝障害 | 吐き気・嘔吐、皮膚や白目が黄色くなる、食欲がない、 からだがだるい、意識障害、羽ばたくような手のふるえ |
| 再生不良性貧血 | 動悸、息切れ、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸 や息切れ、鼻血、あおあざができる(押しても色が消えな い)、出血が止まりにくい、めまい |
| 汎血球減少症 | 出血しやすい、歯ぐきの出血、鼻血、青あざができる、 動悸、息切れ、耳鳴り、めまい |
| 赤芽球癆 | 動悸、息切れ、からだがだるい、めまい |
| 血小板減少症 | 出血しやすい、歯ぐきの出血、鼻血、青あざができる |
| 消化管出血 | 腹痛、血便 |
| 脳出血 | 頭痛、吐き気、嘔吐、片麻痺、意識障害、昏睡、 喋りにくい、手足の麻痺、しびれ |
| 中毒性表皮壊死症 | 広い範囲の紅斑・水疱、痛みのある赤い肌、全身のだる さ、関節痛 |
| 皮膚粘膜眼症候群 | 発熱、食欲不振、全身倦怠感、中央に浮腫をともなった 紅斑、まぶたや眼の充血、ひどい口内炎 |
| 多形滲出性紅斑 | 関節が痛くなる、関節が痛くなる、発熱、 発疹やみずぶくれができる |
| 紅皮症 | 皮膚が紅くなる、皮膚がボロボロはがれ落ちる、発熱、 体がだるい、食欲不振 |
| 消化性潰瘍 | 吐き気、胃痛、腹痛、黒色便 |
| 急性腎不全 | 尿の量が減る、尿がでない、体がむくむ、頭痛 |
| 間質性肺炎 | から咳がでる、息が苦しい、発熱、頭痛 |
| SLE様症状 | 関節の痛み、発熱、全身倦怠感、顔に蝶型の紅斑 |

★ 次のような症状を自覚したら直ちに受診して下さい。

副作用の症状を、現れる身体の部位別に記載しました。

| 部 位 | 自覚症状 |
|-----|--|
| 全身 | からだがだるい、発熱、食欲がない、体がむくむ、片側の麻痺、昏睡、出血が止まりにくい、しびれ |
| 頭部 | 頭痛、意識障害、めまい |
| 顔面 | 鼻血、顔に蝶型の紅斑 |
| 耳 | 耳鳴り |
| 眼 | 皮膚や白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血 |
| 口や喉 | 吐き気、嘔吐、のどの痛み、歯ぐきの出血、喋りにくい、ひどい口内炎 |
| 手足 | 関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ、手足の麻痺 |
| 胸部 | 動悸、息切れ、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、から咳がでる、息が苦しい |
| 腹部 | 腹痛 |
| 皮膚 | 皮膚や白目が黄色くなる、皮膚が紅くなる、皮膚がボロボロはがれ落ちる、発疹やみずぶくれができる、中央に浮腫をともなった紅斑、あおあざができる(押しても色が消えない)、皮下出血 |
| 尿 | 尿の量が減る、尿がでない |
| 便 | 血便、黒色便 |

★ 次のような症状を自覚したらなるべく早く受診して下さい。

| 部 位 | 自覚症状 |
|-----|--------------------|
| 胸部 | むかむかする |
| 皮膚 | 発疹、皮膚の吹出もの、かゆみ、蕁麻疹 |

この薬の保管方法は？

☆この薬は包装されたままではもちろん、包装から出した場合でも湿度と温度の上がない部屋の引き出しや薬箱のなかに保存しておけば大丈夫です。直射日光が当たらないように注意して下さい。

☆子供の手の届かないところに保管してください。

薬が残ってしまったら？

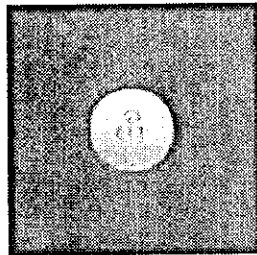
☆この薬が余った場合は、燃えるゴミとして処分してください。

ただし、多く余った場合は、薬局へ届けて処分してもらってください。

☆余った場合でも、絶対他の人に渡してはいけません。

この薬の形は？

☆外観 直径：8.3mm 厚さ：4.6mm 重さ：約 208mg



この薬に含まれているのは？

☆有効成分――塩酸チクロピジン

☆添加物――乳糖、トウモロコシデンプン、カルメロース、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、硬化油、ショ糖脂肪酸エステル、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、酸化チタン、マクロゴール6000、タルク、ジメチルポリシロキサン、二酸化ケイ素

この薬の価格は？

1錠 75.90円

この薬についてのお問い合わせ先は？

☆販売会社 第一製薬株式会社

☆お客様相談室の電話番号：03（3561）1243

本日は、お忙しいところ、貴重なお時間をいただきありがとうございます。
 今回は、この「説明文書」をご覧いただきながら、いろいろと質問をしていきたいと思います。この調査は、説明文書のわかりやすさ、見やすさを調査するものです。今後、患者様にとって、わかりやすい「説明文書」を作成するための資料とさせていただきますが、ご協力いただいた皆様の回答内容は、統計的にまとめるだけです。個人情報公開されることはありません。(これは挨拶例です。実際は状況に応じて各自の判断で実施してください。記憶力の調査ではないことを最初に強調してください。ただし、個人情報の部分は必ずお伝え下さい)

まず最初に、あなたご自身のことについてお伺いします。

これは、今回の調査結果を統計的にまとめるために使用するだけです。ご協力をお願い致します。

F1. 失礼ですが、何歳ですか？ 歳

F2. 性別は？(※質問せずにインタビュアーが見た目でチェックのこと) 1. 男性 2. 女性

F3. ご職業は？
(※可能であれば聞いてください) 自由回答

F4. パナルジンの処方有無
(※質問せずにインタビュアーが記入のこと) 1. 処方 2. 未処方

<パナルジン未処方の方のみに確認>

F5. 現在、医療機関を受診されていますか？
(病気治療のために通院していらっしゃいますか？) 1. 受診している → F5-1へ
2. 受診していない → F6へ
(※入院している患者さんには質問せずにインタビュアーが記入のこと)

F5-1. 何かお薬を処方されて服用していますか？ 1. 服用している 2. 服用していない

F5-2. どのような病気の薬でしょうか？
お差支えない範囲で結構ですのでお知らせください。
自由回答

F6. では、医療機関ではなく、薬局で購入したお薬や健康食品(サプリメントを含む)を服用されていますか？ 1. 服用している 2. 服用していない

F6-1. どのような病気の薬でしょうか？
お差支えない範囲で結構ですのでお知らせください。
自由回答

これから、「説明文書」をご覧ください、いろいろと質問をしていきたいと思います。

まずは、いつも「説明文書」をもらったときに読むように、こちらの「説明文書」を読んでください。

被験者の「説明文書」を読む様子で、気付いたことなどを記入してください

「説明文書」を読むのにかった時間 ()分

では、今、ご覧いただいた「説明文書」について、順番に質問していきます。

質問には、「説明文書」を見ながら答えていただければ結構です。

調査を行うインタビュアーへ

※これは読み上げないで下さい

各質問に対して、被験者が回答するまでにどのぐらい時間がかかりましたか。その他解答欄の番号に○をしてください。

1. 15 秒以内 2. 16～30 秒以内 3. 31～60 秒以内 4. 60 秒以上

<医薬品の本体について>

| | | 正答の有無を チェック | その他回答 (被験者の回答表現そのままを記入) |
|---------------------------------|---|---|----------------------------|
| Q1-1 その薬の名称は何ですか？ | ⇒ | 1. パナルジン 2. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q1-2 この薬の形(形状)は？ | ⇒ | 1. 錠剤 2. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q1-3 この薬の有効成分は？ | ⇒ | 1. 塩酸チロピジン 2. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q1-4 この薬の1錠あたりに含まれる 有効成分の量は？ | ⇒ | 1. 100mg 2. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q1-5 この薬の直径、厚さ、重さは？ | ⇒ | 1. 直径 8.3mm 2. 厚さ 4.6mm 3. 重さ約 208mg 4. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q1-6 この薬の1錠の価格はいくらで すか？ | ⇒ | 1. 75.90 円 2. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |

調査を行うインタビューへ

※これは読み上げないで下さい

各質問に対して、被験者が回答するまでにどのぐらい時間がかかりましたか。その他解答欄の番号に○をしてください。

1. 15 秒以内 2. 16～30 秒以内 3. 31～60 秒以内 4. 60 秒以上

<医薬品の効果・作用について>

| | | 正答の有無をチェック | その他回答 (被験者の回答表現そのままを記入) |
|-----------------------------|---|--|---|
| Q2-1 この薬はどのようなグループに属する薬ですか？ | ⇒ | 1. 血小板凝集抑制薬 2. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q2-2 この薬の効果は？ | ⇒ | 1. 血管内で血小板がくっつきやすくなっている状態を改善する 2. 血液をさらさらにして血液が固まるのを予防する 3. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q2-3 この薬はどのような人に処方されますか？ | ⇒ | 1. 血管の手術を受けた人 2. 血液透析を受けている人 3. 慢性動脈閉塞症 4. 脳梗塞 5. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > ※この質問は、「ポイントを挙げる」または、「書いてある場所を指示にて特定できる」ことでOKとする |
| Q2-4 この薬の服用を勝手にやめるとどうなりますか？ | ⇒ | 1. 病気が悪化する 2. 再発する 3. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |

調査を行うインタビューへ

※これは読み上げないで下さい

各質問に対して、被験者が回答するまでにどのぐらい時間がかかりましたか。その他解答欄の番号に○をしてください。

1. 15 秒以内 2. 16～30 秒以内 3. 31～60 秒以内 4. 60 秒以上

<使用開始前の確認事項>

| | | 正答の有無をチェック | その他回答 (被験者の回答表現そのままを記入) |
|---|---|---|---|
| Q3-1 この薬を飲み始める前に、 医師や薬剤師に申告の必要が あるのはどのような人ですか？ | ⇒ | 1. 現在出血している、または出血 しやすい体質の人 2. 現在肝臓に障害がある、または 過去にその治療を受けたことが ある人 3. 現在血液中の白血球が少なく なっている、または過去にその 治療を受けたことがある人 4. 過去に塩酸チロピジンで白血球が 少なくなったことがある人 5. 過去に塩酸チロピジンで過敏な 反応を経験したことがある人 6. 月経期間中の人 7. 妊娠中またはその可能性がある 人 8. 現在授乳している人 9. 歯科など出血を伴う治療を受けて いる人またはその予定の人 10. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > ※この質問は、 「ポイントを挙げる」または、 「書いてある場所を指示にて特定できる」 ことでOKとする |
| Q3-2 この薬とほかの薬と一緒に飲 む必要がある場合に、医師や 薬剤師に相談しなければならない薬は何でしょうか？ | ⇒ | 1. バルビツール酸誘導体 2. テオフィリン 3. フェニトイン 4. アスピリン 5. イコサペント酸エチル 6. イブプロフェン 7. ジクロフェナク 9. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > ※この質問は、 「ポイントを挙げる」または、 「書いてある場所を指示にて特定できる」 ことでOKとする |
| Q3-3 この薬を使っているときに、 自動車の運転や高所での作業 はできますか？ | ⇒ | 1. できる 2. その他 → X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |

調査を行うインタビューへ

※これは読み上げないで下さい

各質問に対して、被験者が回答するまでにどのぐらい時間がかかりましたか。その他解答欄の番号に○をしてください。

1. 15秒以内 2. 16～30秒以内 3. 31～60秒以内 4. 60秒以上

<使用上の注意>

| | | 正答の有無をチェック | その他回答 (被験者の回答表現そのままを記入) |
|-------------------------------|---|---|----------------------------|
| Q4-1 この薬は、1回に何錠飲みますか？ | ⇒ | 1. 1回1錠～2錠(1日2錠～6錠) 2. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q4-2 この薬は、1日に何回飲みますか？ | ⇒ | 1. 1日2回～3回 2. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q4-3 この薬は、いつ飲めばよいですか？ | ⇒ | 1. 朝・夕または朝・昼・夕 2. 食後30分以内に 3. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q4-4 この薬を飲む時には、何で飲みますか？ | ⇒ | 1. コップ1杯の水または白湯 2. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q4-5 この薬と他の薬を一緒に飲んでもよいですか？ | ⇒ | 1. 一緒に飲んでもよい 2. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q4-6 この薬は小児に使用できますか？ | ⇒ | 1. (原則として)使用しない 2. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q4-7 この薬を飲み忘れた場合はどうすればよいですか？ | ⇒ | 1. 気がついたらすぐに飲む 2. 飲み忘れに気付いた時間が次の飲む時間に近い場合は、1回分を抜く 3. 2回分を一度に飲まない 4. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q4-8 この薬を飲みすぎた場合は、どうすればよいですか？ | ⇒ | 1. 2～3回分なら、心配はないが、不安なときは医師に相談する 2. 4回分以上なら、なるべく早く医師に相談する 3. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |

調査を行うインタビューへ

※これは読み上げないで下さい

各質問に対して、被験者が回答するまでにどのぐらい時間がかかりましたか。その他解答欄の番号に○をしてください。

1. 15秒以内 2. 16～30秒以内 3. 31～60秒以内 4. 60秒以上

<使用中の注意点>

| | | 正答の有無をチェック | その他回答 (被験者の回答表現そのままを記入) |
|---|---|---|---|
| Q5-1 この薬を飲み始めてから、最初の2ヶ月間は2週間ごとの血液検査が必要ですが、それはなぜですか？ | ⇒ | 1. 飲み始めて2ヶ月以内に ごくまれに重い副作用が起こるので 2. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > |
| Q5-2 この薬を使用している間に注意しなければいけないのはどのようなことでしょうか？ | ⇒ | 1. 怪我をしないようにする 2. 出血が長引く場合や怪我の範囲が大きい場合は直ぐに受診する 3. 他の医師を受診する場合は、この薬を飲んでいることを医師に伝える 4. 他の薬を購入する場合は、この薬を飲んでいることを薬局の薬剤師に伝える 5. この薬を飲んでいる間に不安に感じる事があれば医師・薬剤師に相談する 6. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > ※この質問は、「ポイントを挙げる」または、「書いてある場所を指示にて特定できる」ことでOKとする |

調査を行うインタビューへ

※これは読み上げないで下さい

各質問に対して、被験者が回答するまでにどのぐらい時間がかかりましたか。その他解答欄の番号に○をしてください。

1. 15秒以内 2. 16～30秒以内 3. 31～60秒以内 4. 60秒以上

<副作用について>

| | | 正答の有無をチェック | その他回答 (被験者の回答表現そのままを記入) |
|---|---|--|---|
| Q6-1 この薬を使用している間に 気付いた症状で、なるべく早く 受診した方がよい症状は？ | ⇒ | 1. むかむかする 2. 発疹 3. 皮膚の吹き出物 4. かゆみ 5. 蕁麻疹 6. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > ※この質問は、 「ポイントを挙げる」または、 「書いてある場所を指示にて特定できる」 ことでOKとする |
| Q6-2 この薬の副作用にはどのような ものがありますか？ | ⇒ | 1. 血栓性血小板減少性紫斑病 2. 無顆粒球症 3. 重篤な肝障害 4. 再生不良性貧血 5. 汎血球減少症 6. 赤芽球癆 7. 血小板減少症 8. 消化管出血 9. 脳出血 10. 中毒性表皮壊死症 11. 皮膚粘膜眼症候群 12. 多形滲出性紅斑 13. 紅皮症 14. 消化性潰瘍 15. 急性腎不全 16. 間質性肺炎 17. SLE様症状 18. その他 X. 回答なし | 回答時の様子< 1. 2. 3. 4. > ※この質問は、 「ポイントを挙げる」または、 「書いてある場所を指示にて特定できる」 ことでOKとする |